授業科目名	医療社会学	単位数	2
担当教員名	細田　満和子	担当形態	単独

「学位授与の方針」との関係
本科目は、ディプロマポリシー「Ｂ．問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと」を習得することを目的とする。

授業の到達目標及びテーマ
（１）社会学や医療社会学の基本的な考え方を理解する。
（２）医療や福祉における諸主体（患者、患者家族、医療・福祉従事者、医療・福祉制度）に対する社会学的な見方を理解する。
（３）医療や福祉の諸問題を社会学的に捉えることができる。

授業の概要
医療や福祉は、人の生死といった倫理･哲学的な問題、患者／対象者やその家族や医療従事者などの人間関係、病院や各種福祉施設、健康保険や介護保険といった具体的な組織やシステムに関する問題、財源や支出にまつわる経済的問題、政策や患者運動といった政治的問題、医療法や家族法や刑法や民法などの法律問題など、さまざまな要素から成り立っていることを概説する。社会学の見方を利用して、多領域にまたがる複眼的な視点から、患者、家族、医療専門職、社会制度について見てゆく力をつける。

授業計画
第１回：病いや障がいを持つということ
第２回：病人役割、障がい者役割
第３回：自明性の崩壊
第４回：生活史の切断と再編
第５回：病いと疾患
第６回：受動的能動
第７回：患者会とアドボカシー
第８回：病いや障がいを持つ人と家族
第９回：医療と福祉における専門職
第１０回：「出会い」と「変容」、「障がい受容」の再考
第１１回：専門職論
第１２回：多職種連携
第１３回：当事者参加
第１４回：生活の質
第１５回：病いや障がいと生きる意味
定期試験

学修内容
レポートテーマ１：「授業計画」の第１回～第６回までの学習内容について、テキストの序章から第Ⅲ章まで自己学修する。
レポートテーマ２：「授業計画」の第７回～第１５回までの学習内容について、テキストの第Ⅳ章から終章まで自己学修する。
科目修得試験：レポートについても添削指導を受け、両方のレポートに合格したうえで科目修

得試験を受ける。
教科書 細田 満和子『脳卒中を生きる意味―病いと障害の社会学』青海社　２００６年 ※在庫僅少のため 2022 年度より【電子版】に移行。 https://store.isho.jp/search/detail/productId/2205696550
参考文献 （１）細田 満和子『パブリックヘルス　市民が変える医療社会』明石書店　２０１２年 （２）細田 満和子『チーム医療とは何か　第２版―患者・利用者本位のアプローチに向けて』日本看護協会出版会　２０２１年
学生に対する評価 レポート評価（５０％)、科目修得試験（５０％）を総合して評価する。